



第6次高浜市総合計画

後期基本計画

< 素案 >

思いやり 支え合い
手と手をつなぐ
大家族たかはま



平成29年10月

高浜市

- この冊子は、第6次高浜市総合計画（計画期間2011年度～2021年度）の後期基本計画（計画期間2018年度～2021年度）の内容を表したものです。
- 「第2章 基本構想」は第6次高浜市総合計画期間中変更はありません。

☆後期基本計画の位置付け

後期基本計画は、第6次総合計画の締めくくりとして、前期・中期における積み残し（課題）を洗い出し、課題の解決を第7次総合計画に先送りすることのないよう、今後4年間で市が目指すまちの姿や、課題の解決に向けての考え方・方向性をまとめた計画です。

目 次

第1章 はじめに

1. 計画策定の趣旨
2. 総合計画の構成と期間

第2章 基本構想

1. 目指すまちの姿 ～将来都市像と基本目標
2. 人口の見通し
3. 土地利用構想
4. 地域展望

第3章 基本計画【後期】

1. 基本計画の体系
2. 「みんなで目指すまちづくり指標」一覧
3. 基本計画の見方
4. 基本計画

I. みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- 目標1 まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくりま す 2 ページ
- 目標2 将来を見据えた健全な財政運営を行います 4 ページ

II. 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

- 目標3 学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます 6 ページ
- 目標4 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげま す 8 ページ
- 目標5 子育て・子育てを支える環境を整えま す 10 ページ

III. 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくらう

- 目標6 産業を活性化して、まちを元気にしま す 12 ページ
- 目標7 みんなでまちをきれいにしま す 14 ページ
- 目標8 自然と都市機能が調和した都市空間をつくりま す 16 ページ
- 目標9 安全・安心が実感できるまちづくりを進めま す 18 ページ

IV. いつも笑顔で健やかに つながり 100倍ひろげよう

- 目標10 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めま す 20 ページ
- 目標11 一人ひとりの元気と健康づくりを応援しま す 22 ページ

第4章 計画の進行管理

1. 計画の進行管理 26 ページ

資料編

- 高浜市総合計画審議会委員名簿
- 策定体制図
- 諮問・答申
- 策定のあゆみ
- 高浜市自治基本条例



第3章 基本計画

【後期】

平成30年度(2018)～平成33年度(2021)

▶ 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標(1)

まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ まちの課題や目標が市民と行政で共有され、市民が市政を身近に感じ、市政に対する関心・理解、満足感が高まっています。
- ◎ **市民**のまちへの愛着が高まり、まちのことを「自分ごと」として考え、まちを大切にし、自分にできる“まちづくり”を行っています。
- ◎ 職員一人ひとりが地域課題について考え、市民や地域の想いに寄り添いながら、課題の解決に取り組んでいます。

目標達成に向けての考え方

「いつまでも住み続けたい！」と思える高浜市を未来へとつないでいくために、まちの目指す姿を共有し、市民・地域・行政がそれぞれの力を高め、みんなで連携・協力できる「つながるまちづくり」を進めていきます。

- ◆ 高浜市に暮らす満足感を高めるためには、まちの課題や目標が市民と行政で共有されるよう積極的なコミュニケーションが重要です。
- ◆ まちへの愛着を高め、自分にできる“まちづくり”に一人ひとりが関わっていくためには、それぞれが活躍できる・必要とされるステージをみんなで協力しながらつくり上げることが大切です。
- ◆ 職員は自分に合った地域との関わり方を持つとともに、**市民**や**地域**から能力や人柄が認められ、必要とされる人材になることが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 市民と行政がお互いの考えを理解できるよう、積極的な情報発信を行うとともに、対話の場をつくります。
- ☆ 市民・地域・行政が得意分野を活かし、それぞれのステージで自分たちのできる“まちづくり”に取り組んでいくための環境づくりを進めます。
- ☆ 職員のワークライフバランスを考えた「働き方」改革と、職員が地域に関わる“きっかけづくり”から“課題発見・解決”まで段階に応じた成長支援を行います。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 市の情報発信に満足している人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) 地域活動に参加したことがある人の割合	63%	65%	↗
3) 市民と一緒に地域活動に取り組んでいる職員の割合	〇〇%	〇〇%	↗



▲まちづくり出前授業



▲高浜の未来について考える



▲地域で活躍する職員

▶ 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標（2）

将来を見据えた健全な財政運営を行います

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 市の財政運営に対する理解が深まっています。
- ◎ 市税などの財源が確保されるとともに、事業の見直しと重点化により真に必要な事業が実施され、少子高齢化に見合った持続可能な財政運営が行われています。
- ◎ 機能複合化による公共施設の再編、改修による長寿命化等の取組みが市民に理解され、公共施設総合管理計画が着実に推進されています。

目標達成に向けての考え方

今後の財政見通しでは、公共施設の老朽化に係る財政負担、少子高齢化の進展に伴う社会保障関連経費の増加が見込まれ、市の財政運営に大きな影響を及ぼすことが予想されます。そこで、財政運営に関する情報等を市民と共有するとともに、“入るを量りて、出ずるを制す”の考え方にも留意し、歳入・歳出の両面から財政基盤の強化に取り組むことが欠かせません。

- ◆ 市の財政運営や税金に関する情報をタイムリーに発信することが重要です。
- ◆ 市税など財源の確保と真に必要な事業の見極めによる事業の実施により、歳入・歳出のバランスのとれた財政運営に取り組む必要があります。
- ◆ 公共施設管理に「経営」の視点を取り入れ、真に必要な公共施設サービスを持続しつつ、計画的に公共施設の再編を進めていくことが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 市の財政運営や税金に関する情報など、市民の知りたい財政情報を積極的にわかりやすく発信します。
- ☆ 工業用地の創出、市税徴収力の強化、受益者負担の適正化など、財源の確保に努めるとともに、真に必要な事業を見極め、限りある財源のより効率的・効果的な活用に取り組みます。
- ☆ 公共施設の再編や長寿命化に対する市民の理解を高めるとともに、順次、個別施設計画を策定し、公共施設総合管理計画の着実な推進につなげます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 経常収支比率	* 88.8%	80%台維持	→
2) 将来を見据えた財政運営が行われている と思う人の割合	〇〇%	〇〇%	↗

* 経常収支比率の現状値（2017）88.8%は、過去5年間（平成24年度～28年度）の平均値です。



▲H28 中学生総合学習の写真
(中学生が市の財政を勉強しているようす)

家計簿に置き換えてみよう!

お父さん
お父さんの給料
(お父さんの収入)

お母さん
お母さんのパート収入
(お母さんの収入)

お兄さん
お兄さんのアルバイト収入
(お兄さんの収入)

お姉さん
お姉さんのアルバイト収入
(お姉さんの収入)

お父さん
お母さん
お兄さん
お姉さん

お母さん
お母さんの給料
(お母さんの収入)

お父さん
お父さんのパート収入
(お父さんの収入)

お兄さん
お兄さんのアルバイト収入
(お兄さんの収入)

お姉さん
お姉さんのアルバイト収入
(お姉さんの収入)

お父さんとお母さんの収入の合計が
500万円です。

収入月額	支出月額
お父さんの給料 (お父さんの収入) 417,000円	食費 (お母さん) 90,000円
お母さんのパート収入 (お母さんの収入) 58,000円	お父さんの給料 (お父さんの収入) 136,000円
お兄さんのアルバイト収入 (お兄さんの収入) 174,000円	お母さんのパート収入 (お母さんの収入) 43,000円
お姉さんのアルバイト収入 (お姉さんの収入) 14,000円	お兄さんの給料 (お兄さんの収入) 36,000円
お姉さんのアルバイト収入 (お姉さんの収入) 14,000円	お姉さんの給料 (お姉さんの収入) 74,000円
お父さんの収入合計 663,000円	お母さんの収入合計 284,000円
収入計 663,000円	支出計 663,000円

お父さんとお母さんの収入の合計が500万円です。

お父さんとお母さんの収入の合計が500万円です。

▲「予算の使いみち」
(市の予算を家計簿に置き換えてみよう!)

▶ 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

目標(3)

学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちのチカラを育みます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 個人が培ってきた知恵・特技・体験などが、人づくりやまちづくりに活かされ、子ども・若者や大人がともに成長しています。
- ◎ 学び・文化・スポーツ活動を通して市民同士の交流が深まり、「高浜市が好き」「市民や地域のために何かやってみたい」という市民が増えています。
- ◎ 先人たちのあゆみやまちの魅力・自慢が市民共有の財産として継承され、まちづくりに活かされています。

目標達成に向けての考え方

学び・文化・スポーツは、人づくりやまちづくりの土台となるものです。市民・地域・関係機関・事業者と連携し、学びなどを通して市民同士が個々の力を高め合うとともに、つながりを深めながら「高浜市が好き」「誰かのために役立ちたい」「住んでいるまちをよりよくしたい」といったまちづくりの原動力を育んでいきます。

◆ まちの魅力・自慢に触れる機会を豊かにし、「知りたい」「調べてみよう」といった興味・意欲を高め、市民に「伝えたい」、地域のために「役立ちたい」「活動してみたい」といった動きを広げていくことが重要です。

◆ 次世代を担う子ども・若者の「やってみたい」「こうしたい」を応援する輪を広げ、市民同士がともに学び合い、高め合う機会を豊かにしていくことが大切です。

◆ 「いつでも・だれでも・どこでも・いつまでも」気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションを活発にしていけることが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 市民とともにまちの魅力・自慢（歴史・文化・伝統・産業・景観など）を掘り起こし、守り、伝え、活かしていく活動を強化します。
- ☆ 市民（特に子ども・若者）の「知りたい」「やってみたい」「役立ちたい」を応援し、市民同士が学び合い、高め合う場づくりを進めます。
- ☆ 「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションの機会をつくり、市民交流の場を充実します。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 高浜市に愛着や誇りを持っている人の割合	71%	76%	↗
2) 将来の夢・希望・目標を持っている子どもの割合	76%	81%	↗
3) 持っている知識・特技・体験などを地域や社会活動に活かしている人の割合	〇〇%	〇〇%	↗



▲高浜市誌編さん事業（「聞き書き」の実践）



▲生涯スポーツ推進事業（ファミリーバドミントン体験）

▶ 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

目標（4）

学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます**この目標が目指す4年後のまちの姿**

- ◎ 子どもが、自分の成長に気づいたり、目標を抱いたりしています。
- ◎ 子どもが、地域に関心をもち、自分ができることを考え、実践しています。
- ◎ 子どもが、主体的・対話的で深い学びをしています。
- ◎ 子どもが、個に応じた教育を受け、個性を伸ばさせています。

目標達成に向けての考え方

学校、家庭、地域が「子どもの学びや育ちをつなげる」という意識をもち、力を合わせます。

- ◆ 学びや育ちをつなげるには、幼・保、小、中の子どもが行事や催しで交流し、互いの学びや育ちについて理解を深めることが重要です。また、幼・保、小、中の教員が互いの授業や保育を参観したり情報交換したりして、教育観や指導法への理解を深めることが重要です。
- ◆ 地域や社会に関心をもつには、地域の人たち（ゲストティーチャー等）と関わって、高浜の人・もの・ことを学び、高浜市民の一員として自分にできることを考え実践し、認められたり感謝されたりして自己有用感を高めることが重要です。
- ◆ 主体的・対話的で深い学びには、知識や技術の獲得や、それを生かす思考力・表現力が重要です。そのためICTの活用や、効果的な授業実践の集約・活用が重要です。
- ◆ 一人ひとりのニーズに応じた教育を継続的・発展的に行うには、確実な支援情報の引き継ぎと、個に応じて指導する力が必要です。「特別支援ファイル」を活用した支援情報の引き継ぎと、指導力を高める教員研修を充実することが重要です。

こんなことに取り組みます！

- ☆ 異校種間連携事業で、自分や周りのよさに気づいたり、よさを活かしたりできるよう、支援します。また、異校種参観で教師力を向上させ、子どものよさを引き出す指導を展開します。
- ☆ 高浜カリキュラムで、高浜の人・もの・ことを活かした教育を実践します。また、活用型のカレンダーを使って「高浜市が育てていきたい子どもの姿」を周知します。
- ☆ 高浜カリキュラム教科版で、優れた授業実践案を集約・活用したり、ICTを活用した授業や、高浜版プログラミング教育を実践したりして、主体的・対話的で深い学びを支援します。
- ☆ 支援の必要な児童生徒の「特別支援ファイル」の作成と引き継ぎを確実に行うシステムを構築します。また、教職員の特別支援教育への理解をより深めるとともに、指導力・実践力の向上をめざした研修を充実します。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 自分や周りのよさを認める子どもの割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) 地域や社会に関心をもつ子どもの割合	〇〇%	〇〇%	↗
3) 学習が将来、役立つと感じている子どもの割合	〇〇%	〇〇%	↗



「菊人形作り」って楽しいね

【吉浜小】菊人形作り

【よしいげ保】デイサービスの利用者さんとの交流会

【港小】キッズクラブ 避難所体験

▶ 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

目標(5)

子育て・子育てを支える環境を整えます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 安心して子どもを産み育てられる教育・保育環境や保護者が働く職場環境が整っています。
- ◎ 身近な大人をはじめ、市内の大人が子どもの目線を大切にし、子どもの遊びや成長を温かく見守る視点が常に共有されています。
- ◎ 日頃から子どもが気軽に集え、自然に世代間交流ができ、子どもがのびのびと活動できる身近な場所が整っています。

目標達成に向けての考え方

行政、地域、保護者の職場となる企業なども積極的に関わり、子どもが健やかに遊び、成長し、また、保護者が安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て・子育てを総合的に支援する環境を整えていきます。

- ◆ 将来を見据え、既存の施設やサービスを活用し、行政、地域、企業など一緒に、待機児童ゼロをめざし、子育て・子育てを支える環境を整えていくことが重要です。
- ◆ 子どもや子育て中の保護者が、居住する地域の一員として活動に参画し、地域に居場所や役割があることが重要です。
- ◆ 身近な大人と一緒に楽しみながら、子どもが心豊かにたくましく成長できる場があることが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 「高浜市子ども・子育て支援事業計画」に沿って、多様で柔軟な保育サービスの提供など、教育・保育ニーズに対応し、待機児童ゼロをめざします。
- ☆ 子どもの想いを理解し、子どもの視点に立って、子育てを支える大人を増やしていきます。
- ☆ 身近な場所に、子どもの自主性・社会性をはぐくめるよう、自然に世代間や異年齢交流などができる場を増やしていきます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 子どもを産み育てやすいと感じている人の割合	66%	70%	↗
2) 子どもに対して理解のある大人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
3) 待機児童数	17人	0人	↘



▲赤ちゃんと中学生との交流



▲地域の方と園児とのふれあい

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生みだすエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標(6)

産業を活性化して、まちを元気にします

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 産業活動が活発に行われ、市内の雇用が安定しています。
- ◎ 市内事業者の受注機会が増え、売上げが増加しています。
- ◎ 市民が地域資源を掘り起こし、新たな視点も加え、まちの魅力を高めています。
- ◎ まちの魅力に触れようと市内外から多くの人々が訪れてきています。

目標達成に向けての考え方

産業は、まちに活力を生み出し、市民の働く場の確保や所得を得て、消費の場となるなど、安定した市民生活を支える基盤です。優良農地の保全をしつつ、地場産業の振興、企業誘致の促進、企業や事業者の新たな取り組みや意欲・挑戦を応援していきます。

- ◆ 地域経済の活性化や地域雇用の安定を図るため、企業誘致を進めるとともに、既存企業の新たな取り組みや頑張りを支援することが重要です。
- ◆ 三州瓦の産地としての伝統技術・文化の継承のため、行政と業界がそれぞれの役割を担い、連携することが大切です。
- ◆ 地元の若者が地元の企業に興味を持ち、将来高浜市で活躍したいと感じられるよう地域と若者をつなげる仕組みが必要です。
- ◆ まちの魅力を発掘・育成・再確認し、自慢できるまちとして市内外に発信していくことが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 新たな工業用地を創出し、企業誘致を進めるとともに、既存企業の投資意欲を高める支援策を推進します。
- ☆ 災害による風評被害の払しょくや伝統性を活かした商品開発、ブランド化など、地場産業である三州瓦の優位性やデザイン性をPRするため、「高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例」を推進します。
- ☆ 高浜高校SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）を支援し、高浜市の産業を全国的にPRするなど、ビジネス手法を用いた若い世代の育成支援をします。
- ☆ 高浜市観光協会や関連団体が行うイベントや高浜市のPRに対し人的支援、活動支援をします。

みんなで目指すまちづくり指標

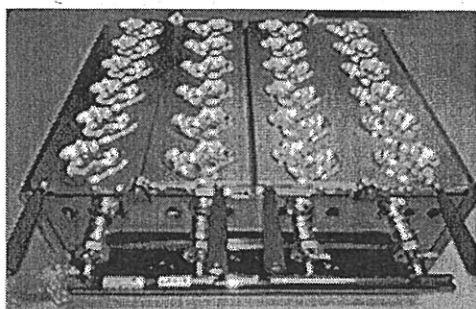
目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 市内の法人数	919 社	930 社	↗
2) 行政がかかわるイベントの来場者数	86,000 人	100,000 人	↗
3) 製造品出荷額等	512,352 百万	720,931 百万	↗



▲工業用地（豊田町地区）



▲三河の祭業展のようす



▲Sの絆焼き型（高浜高校SBP）



▲鬼みちまつりのようす

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標（7）

みんなでまちをきれいにします

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 地球環境から身近な生活環境まで、環境に配慮して行動する市民、事業者が増えています。
- ◎ ごみをつくらない（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R活動が推進され、ごみの減量化が図られています。
- ◎ 道路や公園などに、ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。

目標達成に向けての考え方

人類の共有財産である地球環境を守るため、一人ひとりが地球環境に対する意識を高め、地域・学校・事業者・関係機関と協力して環境に配慮した取組みを実践し、環境の負荷が少ない、快適できれいなまちを次世代に引き継ぎます。

- ◆ 一人ひとりが地球環境問題に関心を持ち、それぞれの立場で、積極的に環境保全活動に取り組むことが重要です。
- ◆ さらなるごみの減量化を図るには、ごみをつくらない（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R活動を推進することが必要です。
- ◆ きれいで住みやすいまちをつくるには、環境美化・環境学習などの取組みが大切です。

MEMO

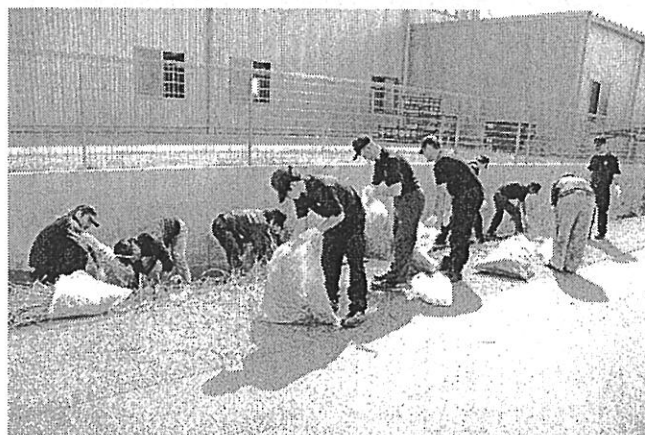
こんなことに取り組みます！

- ☆ 地域・学校・事業者・関係機関と連携した環境保全活動に取り組みます。
- ☆ 循環型社会の構築に向け、資源ごみのリサイクルを進め、ごみの減量化に取り組みます。
- ☆ 「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」を推進し、環境美化活動を進めます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 日ごろから省資源や省エネなど環境に配慮した生活をしている人の割合	78%	85%	↗
2) 1人1日あたりの家庭ごみ排出量 *	540g	490g	↘
3) 市民一斉清掃や地域・企業での清掃活動に参加したことがある人の割合	〇〇%	〇〇%	↗

* 指標2) 1人1日あたりの家庭ごみ排出量では、4年間で「50gの削減」を目標としています。目安として、50gは「新聞見開き紙2枚半」に相当します。



▲企業による清掃活動



▲資源回収のようす

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標(8)

自然と都市機能が調和した都市空間をつくります

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 都市空間の調和を保ち、安心して安全な暮らしを支える道路などの整備・保全が計画的に行われています。
- ◎ 快適な生活の維持に必要なライフラインが整備されるとともに、いつでもすべての市民に安定して水が供給できています。
- ◎ 公園・緑地などが地域とともに守り育てられ、まちの憩いの場として親しまれています。

目標達成に向けての考え方

住みやすい快適な都市空間をつくるため、道路やライフライン等について、予防保全型の計画的な維持管理や長寿命化を図るとともに、公園・緑地といった地域資源を地域とともに守り、まちの魅力を高めていきます。

- ◆ 快適かつ安全な暮らしを支え、経済活動を活性化できるよう、スムーズに移動できる道を維持するための定期的な調査・点検が必要です。
- ◆ 災害時でも安全・安心な住環境が確保できるよう、配水管の耐震化を長期的な観点で計画的に整えていくことが大切です。
- ◆ 魅力ある公園・緑地づくりのため、地域とともに適切な維持管理を行い、長寿命化させていくことが大切です。

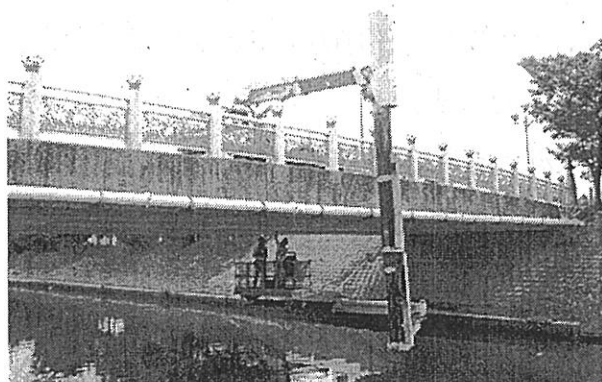
MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 道路や橋りょう等の計画的な維持管理のため、調査・点検を進め、改良や修繕を行います。
- ☆ 災害時でも水が安定的に供給できるよう、災害時避難所へ水道を供給する配水管を耐震管に布設替えるなど、耐震化を進めます。
- ☆ 公園長寿命化計画に則って計画的に公園施設の修繕を進めるとともに、地域の関係団体と協働で「緑のあるまちづくり」を進めます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 道路の長寿命化を計画的に実施した割合 (幹線道路の舗装)	18.4%	38.6%	↗
2) 配水管の耐震化率	18.5%	25%	↗
3) 公園・緑地・稗田川の水辺・港湾緑地等 を利用している人の割合	〇〇%	〇〇%	↗



▲橋りょう法定点検状況（吉野橋）



▲地域による公園管理

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生まだすエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標（9）

安全・安心が実感できるまちづくりを進めます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 市民一人ひとりが、災害・犯罪・交通事故に対する予防や備えに取り組んでいます。
- ◎ 「自助」「共助」「公助」の考えに基づく役割分担と相互の連携が強化され、防災・減災対策、防犯・交通安全対策など、安全・安心を守る活動が地域の中で積極的に行われています。
- ◎ 誰もが安全で安心だと感じながら暮らしています。

目標達成に向けての考え方

近い将来に発生が予測される大震災に加え、集中豪雨・台風・火災などの災害、身近に起きる犯罪・交通事故から生命を守り、被害を最小限に食い止めるため、市民・地域・事業者・関係機関・行政がそれぞれの役割を果たし連携を図る中で、安全・安心に暮らせる環境を築いていきます。

- ◆ 災害に強いまちを築いていくためには、被害の未然防止、発生時の対応、応急・復旧対応といった、総合的な防災・減災対策を強化することが重要です。
- ◆ いざという時に「自らの安全は自ら守る（自助）」、「地域の安全は地域で守る（共助）」を意識し行動できるように、市民一人ひとりが、日頃から地域の中で防災力や防犯力などを高め、実践しておくことが大切です。
- ◆ 住宅侵入盗や特殊詐欺などの犯罪や交通事故などを防ぎ、日常の暮らしの安全・安心を守るためには、市民・地域・事業者・関係機関と連携した取組みを行うことが必要です。

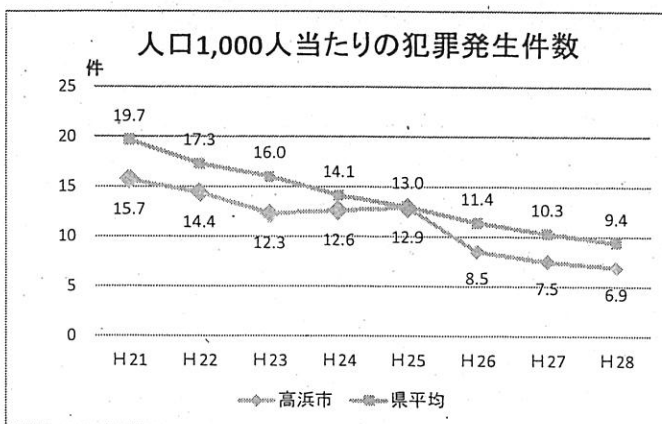
MEMO

こんなことに取り組みます！

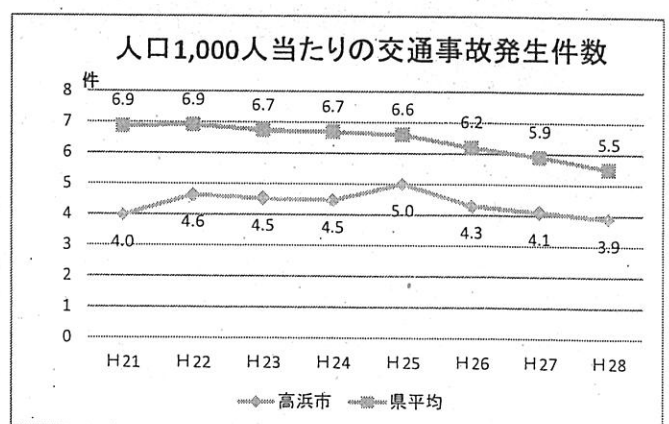
- ☆ 自然災害に対し、市民・地域・事業者・関係機関と「自助」「共助」「公助」の考えに基づく役割分担と相互の連携強化を図り、実践的な防災・減災活動に取り組みます。
- ☆ 「高浜市みんなで犯罪のないまちにしよう条例」に基づき、地域・警察等で構成する高浜市防犯ネットワーク会議を軸に、犯罪抑止活動を推進します。
- ☆ 地域・警察・事業者・関係機関と連携し、特に自転車の運転マナーの向上、高齢者や子どもの交通事故防止に向けた取組みなど、交通安全対策を進めます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 家具を固定している人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) 防災訓練に参加したことのある人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
3) 人口1,000人当たりの犯罪発生件数	6.9件	6件	↘
4) 人口1,000人当たりの交通事故発生件数	3.9件	3件	↘



▲犯罪発生率の推移



▲交通事故発生率の推移

▶ 基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

目標(10)

一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 困りごとを抱え、支援を必要とする人に対して、包括的な相談支援が行われています。
- ◎ 支援を必要とする人に対して、ニーズに応じた福祉サービスが提供され、誰もがその人らしくいきいきと暮らしています。
- ◎ 福祉サービスやふだんの生活を支える人材が確保され、地域の中で互いが協力し、支え合いの担い手として活躍しています。

目標達成に向けての考え方

市民が抱える課題や福祉ニーズは、年々複雑化・多様化しています。家族、近所、町内会、まちづくり協議会などの地域のネットワークや事業者、関係機関などが協力して、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく、安心して生活できる環境を築いていきます。

- ◆ 暮らしの中で生じる様々な課題やニーズにきめ細かく対応するために、全世代・全対象型の相談支援をワンストップでできる体制が必要です。
- ◆ 一人ひとりの個性が尊重され、ニーズに応じたサービスが提供されていることが必要です。
- ◆ ケアを必要とする人やその家族を支援する多様な人材が育成されていることが必要です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

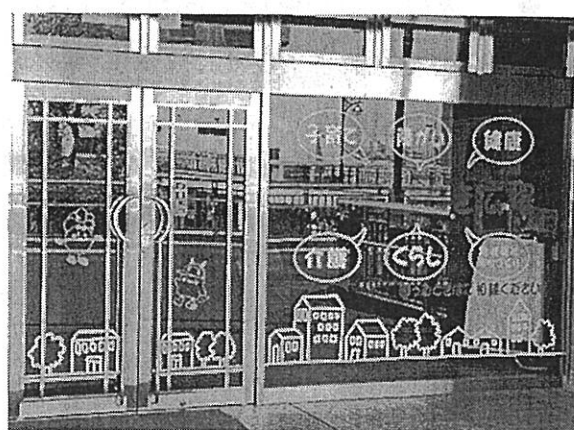
- ☆ 生活困窮、介護、障がい、育児など、支援が必要な人に対し、早期かつ包括的な相談支援を行い、各々の事情に応じた支援につなげます。
- ☆ その人に合った暮らしを実現するため、地域の実情に応じて、福祉サービスや地域の支え合いの充実を図ります。
- ☆ 福祉サービスやふだんの生活を支えるための多様な人材を養成します。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) いきいき広場（総合相談窓口）を知っている人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) 高浜市内でボランティア活動等に参加したことがある人の割合	〇〇%	〇〇%	↗



▲認知症サポーター養成講座



▲いきいき広場

▶ 基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

目標(11)

一人ひとりの元気と健康づくりを応援します

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 若いうちから、一人ひとりが自身の健康状態を把握し、健康づくり活動へ積極的に参加しています。
- ◎ 誰もが住み慣れた地域で、生きがいや役割を持ち、健康でいきいきと暮らしています。
- ◎ 医療、介護、予防、生活支援の連携体制（地域包括ケア）が構築されています。

目標達成に向けての考え方

健やかで心豊かに生活するためには、健康であることが大切です。一人ひとりが健康づくり活動に取り組むことができるよう、地域全体で健康寿命を延ばしていくための環境づくりを進めます。

- ◆ 一人ひとりが健康であり続けるためには、自身の健康をしっかりと認識し、若いうちからの運動習慣と生活習慣病予防に取り組むことが大切です。
- ◆ 健康で生きがいを持って暮らし続けるには、自身の健康づくりに加え、地域の中に役割を持って活躍できる仕組みが必要です。
- ◆ 一人ひとりの健康づくりを応援するためには、地域全体でバックアップするしくみが大切です。

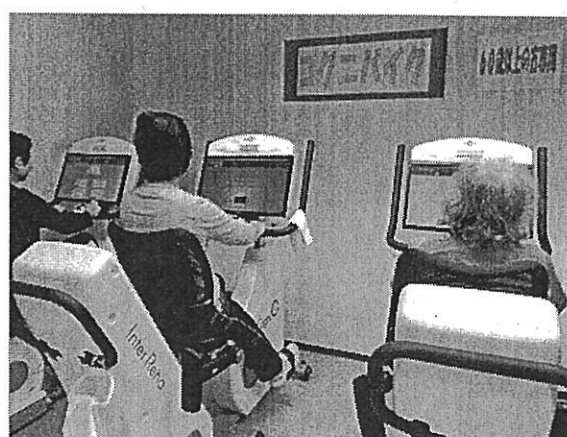
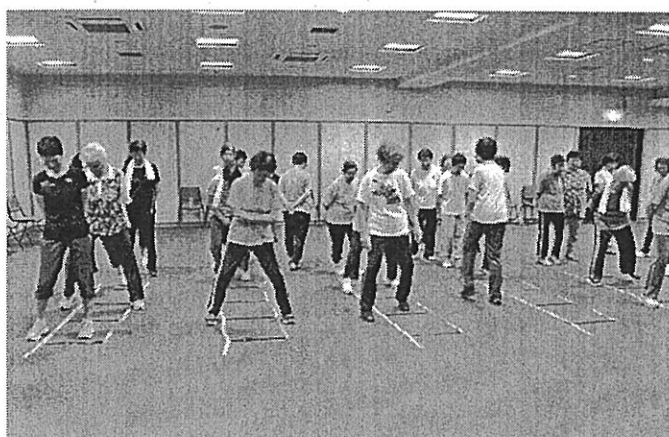
MEMO

こんなことに取り組みます！

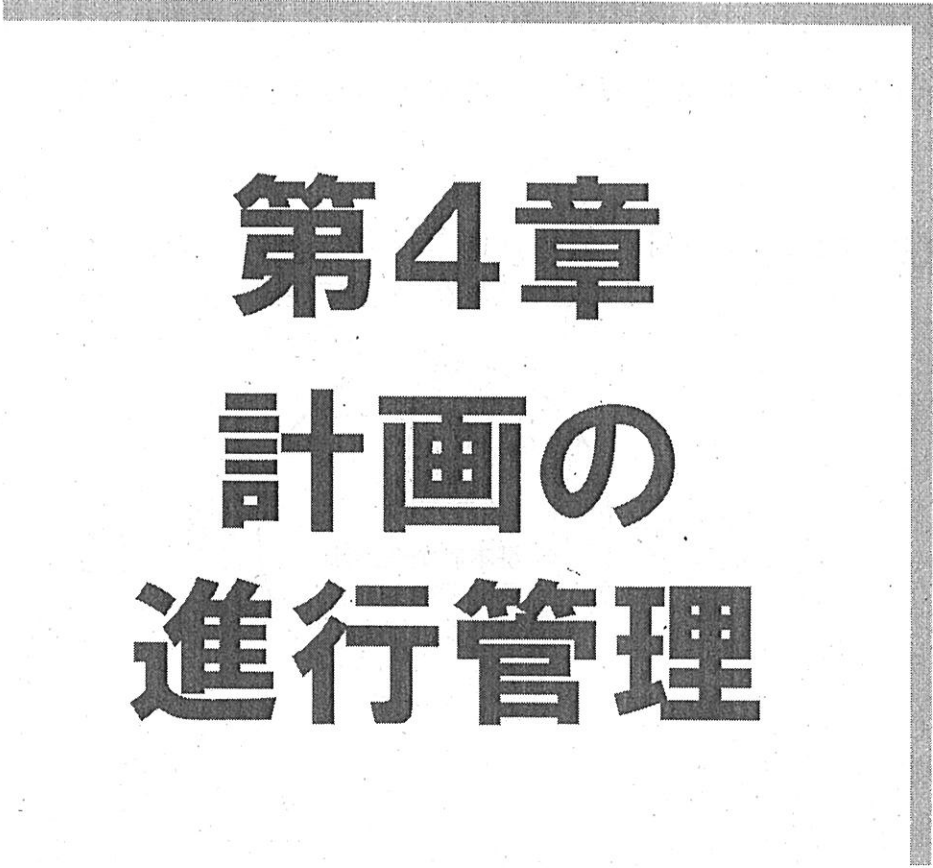
- ☆ 生涯をとおして健康を意識し、生活の質を高めるための健康づくり活動を応援します。
- ☆ 高齢者の居場所である「健康自生地」を応援するとともに、担い手としての活躍の場を創出します。
- ☆ 疾病を早期に発見し、適切な治療が受けられる「かかりつけ医」を持つよう働きかけるとともに、地域医療の充実と医療と介護の連携を推進します。

みんなで目指すまちづくり指標

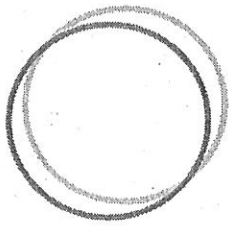
目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 日常的に外出や運動を楽しんでいる人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) かかりつけ医を持っている人の割合	79%	84%	↗



▲健康づくり活動のようす



第4章 計画の 進行管理



計画の進行管理

目指す姿の実現に向けて、計画を着実に推進していくために・・・

「住んでよかった!」「いつまでも住み続けたい!」と思える高浜市を創っていくために、総合計画の基本計画に掲げる目標の達成に向け、その達成状況を点検・確認し、事業の見直し・改善を行うPDCAサイクルを組み入れ、適切な進行管理を行います。

※PDCA サイクル・・・計画(Plan)し、実行(Do)し、その結果を評価・検証(Check)し、改善策や次の施策に活かしていく。(Action) こと。



【計画の進行管理にあたって】

(1) 施策評価の実施

- ・ 目指す姿の実現に向けて、基本計画に掲げる 11 目標について様々な観点から点検・確認し、その結果をアクションプランの見直しに反映させ、より良い行政サービスにつなげます。

(2) 多くの市民を交えながら計画を推進

- ・ 市民や学識経験者で構成する第6次高浜市総合計画推進会議のほか、多くの市民とともに“市が抱える課題の改善につながる具体的なアイデアを考える場”や“市の未来について語り合う場”を設けるなど、計画推進の様々な段階において多くの市民の参加・参画機会を創出し、目指す姿の実現に向けて、計画を推進します。

(3) わかりやすい発信・情報の共有

- ・ 市民と行政が市政運営やまちづくりの課題などについて共通認識を持ち、解決策についてともに考え、目指す姿の実現に向けて行動できるように、点検・確認結果をわかりやすく公表します。
- ・ 市民と行政がお互いの考えをしっかりと理解できるよう、高浜市自治基本条例においてまちづくりの基本原則にも掲げられている「情報共有」に、さらに力を入れて取り組んでいきます。

* 「みんなで目指すまちづくり指標」の見直し

- ・ 策定時に設定した「みんなで目指すまちづくり指標」については、施策の進捗や情勢の変化等により、必要に応じて見直しを行っていきます。

MEMO
